

# 日弁連能力認定制度に基づく研修会

## 2018年度研修内容のご案内

### 第1回「民事保全」

民事保全は、緊急性を有する事件です。早く、正確な事務処理が求められます。申立てに必要な書類の取り寄せ、申立書の定型的な部分の作成、疎明資料の作成、目録や郵券の準備、担保の供託、等々事務職員のできる実務も多く、そのような実務を担ってもらうことにより、事件処理を飛躍的に早めることができます。また、弁護士・事務局双方のチェックが入ることにより、誤りを防ぐことにもつながります。

#### 【主な講義内容】

- ・ 民事保全事件の概要
- ・ 保全命令発令までの手続
- ・ 担保の提供
- ・ 保全決定と保全執行
- ・ 債務者の救済・不服申立
- ・ 保全事件の終結
- ・ 担保取消手続

### 第2回「家事手続、人事訴訟」

家事調停・家事審判等の家事事件、離婚等の人事訴訟事件の性格や特徴については、事務職員にも良く理解してもらう必要があります。家庭や親族間の微妙な問題等が扱われますので、事務処理の面だけでなく、依頼者との接し方や相手方本人への対応等にも注意が必要となる事案も多くあります。

また、戸籍謄本等の資料の取り寄せ、定型的な申立書や目録類の作成、記録謄写、戸籍の届出や強制執行等、事務職員の活躍の場面も多くあります。概要と基本的な実務の理解は不可欠な分野です。

#### 【主な講義内容】

- ・ 家庭裁判所の役割と特徴
- ・ 家事調停事件と審判事件
- ・ 人事訴訟
- ・ 離婚事件の具体的な手続
- ・ 離婚後の関連手続
- ・ 強制執行

### 第3回「相続」

戸籍の取り寄せと相続関係の確認、相続財産の調査、相続預金の処理、遺産分割、相続放棄や限定承認、遺言書の作成・検認、遺言執行等々相続に関する実務は多岐にわたり、事務職員にも法律の定めや判例等の基本的な理解が求められます。また、事務職員の担うことのできる実務も多い分野です。

#### 【主な講義内容】

- ・ 相続法と相続
- ・ 相続人の範囲と法定相続分
- ・ 代襲相続と数次相続
- ・ 特別受益と寄与分及び遺産分割
- ・ 相続の承認、放棄、限定承認
- ・ 相続人の不存在と相続財産管理人の選任
- ・ 遺言と遺留分

## 第4回「成年後見」

成年後見も近年増えている事件です。申立てに関する基本的な事項のほか、弁護士が成年後見人となった場合の後見事務には、事務職員の協力が不可欠な分野です。

また、法改正や、裁判所や弁護士会の運用等の変更など、新たに理解しなければならない事項も多く、常に研修が必要なテーマでもあります。

### 【主な講義内容】

- ・成年後見等の制度の特徴
- ・成年後見等の申立て
- ・後見等登記
- ・財産調査と財産目録の作成
- ・身上監護に関する事務
- ・財産管理
- ・郵便物の回送申立てと開披
- ・報酬付与の申立て
- ・後見等の終了
- ・死後事務
- ・任意後見制度
- ・後見等監督
- ・後見制度支援信託

## 第5回「登記」

従来「登記・供託・担保取消」というテーマで1回の講義でしたが、より詳しく解説するために、「登記」のみの独立した講義を実施することになりました。

不動産登記も商業登記も、登記申請事務については司法書士に依頼することも多いと思われませんが、登記手続請求事件、相続事件、離婚事件等々、不動産登記についての基本的な理解が必要な事件も多く、また会社法の施行にともない、会社の機関や役員の種類・任期にも様々な種類ができましたので、商業登記についての知識も不可欠となっています。

### 【主な講義内容】

- ・不動産登記の基本事項
- ・表示に関する登記と権利に関する登記
- ・対抗要件としての登記
- ・登記申請と添付書類
- ・判決等による登記
- ・相続登記と法定相続情報証明制度
- ・商業登記の基本事項
- ・特例有限会社
- ・株式会社の役員変更登記の例

## 第6回「供託・担保取消」

従来「登記・供託・担保取消」というテーマで1回の講義でしたが、より詳しく解説するために、第5回と分けて「供託・担保取消」のみで1回の講義を実施することになりました。

供託については、法律事務所で関わることの多い、「弁済供託」「裁判上の保証供託」「第三債務者の執行供託」を中心に解説し、担保取消しについては、基本研修で説明できなかったやや複雑なものも含めて解説します。

### 【主な講義内容】

- ・供託の基本事項
- ・弁済供託の種類
- ・現実の提供と口頭の提供
- ・裁判上の保証供託
- ・第三債務者と供託
- ・権利供託と義務供託
- ・供託の取り戻し請求と還付請求
- ・払い渡し請求の実務
- ・担保取消しの申立人
- ・担保提供事由の消滅
- ・担保権利者の同意
- ・権利行使催告手続
- ・担保取戻し手続
- ・仮差押解放金の取り戻し